稲川支援学校進路だより



ステップ

令和5年度 第7号 令和5年11月10日 秋田県立稲川支援学校 進路指導部 発行



青年学級12



本校では地域生活の要素である楽しむ場、リラックスできる場、地域生活や進路先のことについて気軽に相談できる場として、本校高等部の卒業生を対象に年2回、青年学級を実施しています。

今年度の青年学級は、1回目を10月1日(日)、2回目を11月5日(日)に行いました。1回目は、「全国まるごとうどんEXPO」に8名の同窓生が参加しました。シャトルバスで会場に向かい、様々なおいしいうどんを一緒に食べながら、イベントを楽しみました。2回目は、学校を会場に行い、12名の同窓生が参加しました。学校での開催は、4年ぶりということで、久しぶりに校内に入り、「懐かしい~!」と喜ぶ同窓生が多く、スポーツやゲームを楽しみました。茶話会では、仕事や休日の過ごし方などの近況を詳しく話してくれ、充実した生活を過ごされていることを知ることができました。同窓生の方々の年齢も幅広いのですが、楽しい活動を通して和やかに交流しています。次年度も、同窓生が気軽に集まれる楽しい青年学級を企画していきたいと考えています。







同窓生同士でオセロ対決☆





和やかな雰囲気の茶話会



様々な軽スポーツに挑戦!



秋田県特別支援学校就労促進フェア(県南地区)

IO月27日(金)に、湯沢市役所を会場に「秋田県特別支援学校就労促進フェア(県南地区)」が開催されました。このフェアは、湯沢市内をはじめとした県南地区の事業所に向けて、特別支援学校に在籍する生徒の「就職したい!という気持ち」や、「就職するために力を高めようとしている姿」を PR することを目的に開催されました。本校からは「技能競技会『錬成会』」に高等部 I・2 年生から6名、「特別支援学校実践発表『夢の実現に向けて』」に高等部3年生から2名、計8名が参加しました。

『錬成会』では、ビルクリーニング部門、喫茶サービス部門に加え、今年度からワードプロセッサ部門が新設され、本校は全部門に出場し、2名が金賞、1名が銀賞を獲得するという素晴らしい成績を挙げることができました。出場した生徒たちは、授業中や放課後に練習を重ねてきており、当日は実力を発揮し、観覧していた一般の方々もその技術の高さや落ち着いた様子に感心されていました。

「実践発表『夢の実現に向けて』」では、3年生がこれまでの実習などで学んできたことを振り返り、就職するためにどのような力を身に付けてきたのか、就職に向けてどのような課題に今向き合っているのかといったテーマで発表しました。参加された事業所の方々の中には、深くうなずきながら発表を聞いてくださっている方もいらっしゃいました。生徒たちの就職に向けた熱い気持ちが伝わったのだと思います。このフェアに向けて努力を積み重ねてきた生徒たちの姿が、今後の就労促進につながることを期待しています。

◇実践発表

片野龍一郎さん、佐藤晴斗さん









- ◇ビルクリーニング部門 佐藤凌さん
- ◇喫茶サービス部門 井上大基さん(金賞) 阿部沙妃さん
- ◇ワードプロセッサ部門 小川柊也さん(金賞) 阿部響さん(銀賞) 齊藤孝明さん







